

納内お手伝いポイント制度試行

9月28日、地域住民(利用会員)の困りごとを、地域住民(協力会員)がサポートし、協力会員に謝礼としてポイントを発行する「納内お手伝いポイント制度」の導入に向け、試験事業を実施しました。

この事業は利用料金30分250円、交通費1回100円、1回の利用時間は2時間までとしており、提供できるサービスは、お掃除・簡単な大工仕事・除雪・話し相手等で、事務局が依頼内容を確認のうえ協力会員と日程調整を行い実施します。

この日は、独居の女性高齢者の依頼で、車庫内の整理、清掃のほか、隣家との境目に置かれた縁石を並べ替えました。「夫が亡くなってから、持病のせいもあって一人で作業をするのは難しい、協力していただいて本当に助かりました」と感謝の言葉をいただき、やりがいのある仕事だと実感しました。

この試験事業は来年3月末まで実施する予定となっています。利用会員及び協力会員を募集しています。希望される方は事務局へご連絡ください。



隣家との境界線のブロックを敷き直し



車庫の中の整理



除草剤撒き

★今後の予定★

- ◎ にしん漬作り・販売 (11月～1月)
- ◎ クリスマスコンサート (12月7日)
- ◎ 第3回納内買い物ツアー (12月24日)

本番に向けて、生徒とスタッフは試食しながら意見交換。



共同サロン なごみ With クラーク



今年開発した「かぼちゃのリゾット定食」



昨年開発した「黒米おにぎり定食」



一昨年開発した「そばいなり定食」

10月28日、クラーク高校と協議会の連携事業「なごみ with クラーク」を今年度も開催しました。「オリジナルレシピ開発ゼミ」の生徒さんが考えた地域の食材を生かした料理「かぼちゃのリゾット」を朝から慣れた手つきで次々と調理して11時過ぎから食事の提供を行いました。地域の方も大勢来店し、食事をしながら生徒との交流を深め、「美味しい」の言葉に生徒達はとても嬉しそうでした。また、試食された方の感想をアンケートでお聞きし、今後のメニュー開発に活かします。

納内まちづくり通信

おさむない

第17号

発行：納内地域集落対策協議会

いつまでも住み続けられる活力あるまちづくりに取り組む、納内地域集落対策協議会の活動をお知らせします



納内地域集落対策協議会は、過去5年間、農林水産省の補助金「農村集落活性化支援事業」を活用しながら、地域の維持と活性化を目指して様々な取り組みを進めてまいりました。補助事業終了となった今年度からは、単独で取り組みを続けています。

今年はコロナの影響もあり、多くの事業が中止となってしまいましたが、「サロンなごみ」を中心に活動を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。

納内地域集落対策協議会 会長 安藤一彦

納内買い物ツアー



納内は65歳以上の高齢化率が令和2年7月末現在で50.8%に達し、車の運転をしない高齢者や車を持たない高齢者の買い物が困難になってきています。納内地域集落対策協議会では、高齢者の買い物支援として、8月6日と10月20日に「納内買い物ツアー」を実施しました。

昨年度まで一回500円の参加費を今年度は年会費制(1,000円)に変更し、開催回数も年3回から4回にしました。ツアー参加者は、バスで市内の生活雑貨、衣料、薬、生鮮食品などを扱っている店舗を回り、段ボール箱いっぱいの食料品や家庭菜園用の培養土などを次々と購入し買い物を楽しみました。帰りはそれぞれの家の前でバスを停車し、スタッフが荷物を玄関先へと届けました。



「三升漬」を販売

8月24日(月)「サロンなごみ」の運営スタッフが「三升漬」を作りました。大変好評につき、昨年度製造分は早い時期に完売となっており、今年度製造分は10月から「サロンなごみ」や道の駅ライスランドふかがわ農産物直売所「えしる」で販売しています。なごみや道の駅にお越しの際、是非一度ご賞味ください。



一つ一つを丁寧に煮沸消毒。



納内地域買い物弱者アンケートの集計結果 (N=有効回答数)

納内地域集落対策協議会

(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所

令和2年5月に納内地域集落対策協議会と北方建築総合研究所が協力し、日常的な買い物の実態把握と、買い物ツアーを含む対策案の検討を目的に、「納内地域における買い物弱者対策のアンケート調査」を実施いたしました。その結果の概要をお知らせいたします。

① 買物時の交通手段や頻度、行先について

市街地で買い物する世帯
137.9世帯/日

納内で買い物する世帯
5.6世帯/日

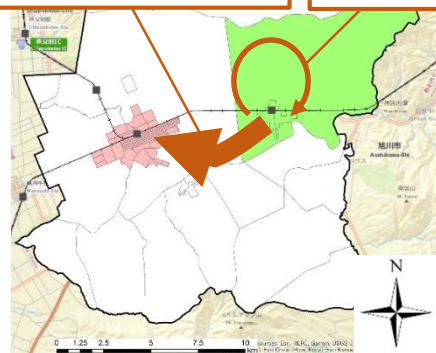
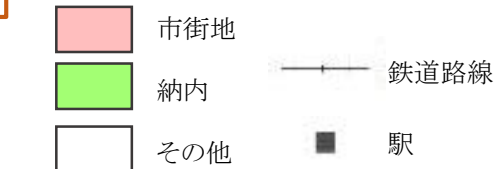


図1 買物の行先について

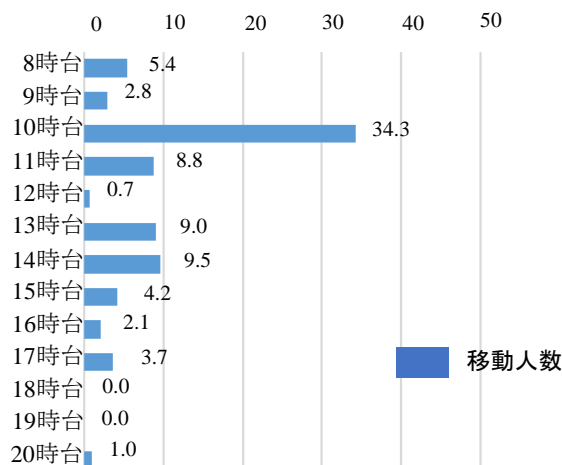


分析結果

納内地域では、週1~2回の頻度で、自分で車を運転して市街地の店舗まで移動する世帯が多いことが分かりました(図1)。

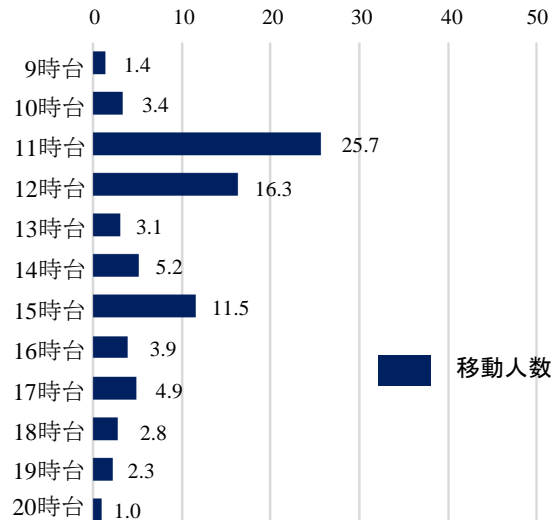
② 買物時の外出時間帯について

自宅を出発する時間帯※ (世帯/日)



N=55(自分で車を運転して、深川市内で買い物をする世帯限定)

自宅に到着する時間帯※ (世帯/日)



N=55(自分で車を運転して、深川市内で買い物をする世帯限定)

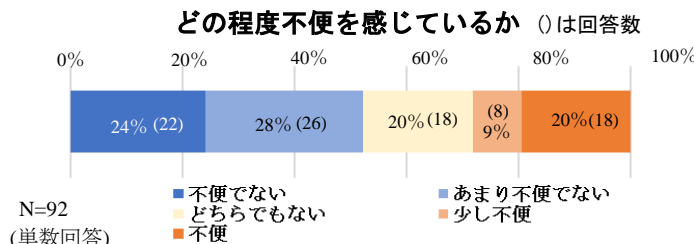
図2 買い物に関する外出時間帯

※深川市内の店舗まで自分で車を運転する人限定。アンケート調査結果と国勢調査(H27)から推計。

分析結果

「自分で車を運転する人は、自由な時間に外出している」という想定の下、市内の店舗まで車を運転する人に限定し、移動人数の多い外出時間帯を調査しました。その結果、昼食前もしくは夕食前に外出する世帯が多いことが分かりました(図2)。

③ 買い物に不便を感じる理由について



N=92 (単数回答)

図3 買い物にどの程度不便を感じるか?

分析結果

買い物に関して、合計29%が不便と考えることが分かりました(図3)。

また、不便を感じる理由について、バスやJRで買い物をすることが難しいという理由が多く、特に購入品を持ち帰ることが難しいという意見が多いことが分かりました(図4)。

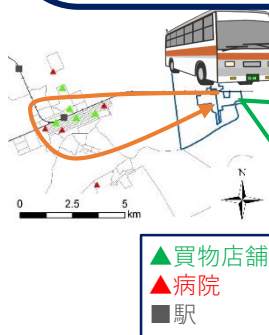
このことから、納内地域で買い物弱者の対策を進めるには、公共交通で移動手段を確保するだけでなく、買い物ツアー(図5)のような購入品を手間なく持ち帰れる取り組みが必要と考えられます。

不便を感じる理由



N=25(「不便」「少し不便」と回答した世帯で少なくとも1つ回答した人限定) (複数回答)

図4 買い物に不便を感じる理由



買い物ツアーについて

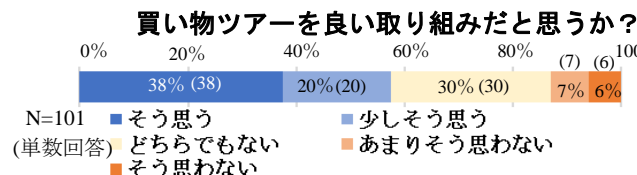
実施主体：納内地域集落対策協議会

内容：市内の店舗を貸切バスで巡回。行き帰り両方とも自宅まで送迎するため、重い購入品を手間なく持ち帰れる。

料金：今年度から1000円/4回・年 (昨年度までは500円/回)

図5 買い物ツアーについて

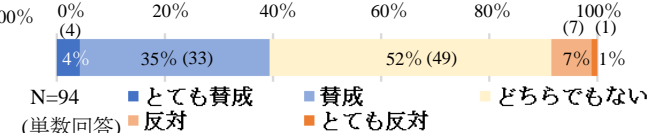
④ 「買い物ツアー」の評価と支援金支払制度について



N=101 (単数回答)

図6 買い物ツアーを良い取り組みを思うか?

買い物ツアーへの支援金支払制度について



N=94 (単数回答)

図7 買い物ツアーへの支援金支払制度の是非

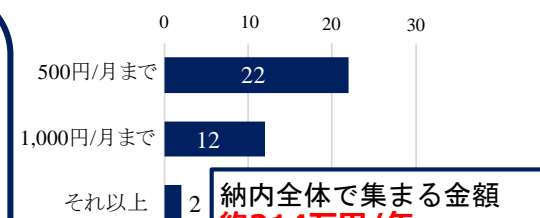
分析結果

合計58%が買い物ツアーを良い取り組みと考えることが分かりました(図6)。

また、買い物ツアーへの支援金支払制度の導入について、合計39%が賛成と考えること(図7)、納内全体で集まる金額は買い物ツアー約50回分になることが分かりました(図8)。

これらのことから、住民自らで買い物ツアーを運営することについて、可能性はあると考えられます。

買い物ツアーへの支援金の支払額



納内全体で集まる金額
約214万円/年
(買い物ツアー約50回分)

N=36 (買い物ツアーへの支援金に賛成の人限定。単数回答)

図8 支援金の支払額